

5. Mbororo共同体の水源地改修(カメルーン)

- 実施団体: Support Humanity Cameroon(SUHUCAM)
- 実施地: カメルーン Ngoketunjia県 Bamunkumbit村
- プロジェクト費用: 2,236.29ドル(JWFファンド1,500ドル、団体 736.29ドル)
- 受益者数: 1,000人(男性200人、女性350人、子ども450人)
- 実施地の水問題:

放牧民のMbororo族が居住する対象地域は、かつて生物多様性が豊かな自然環境だった。しかし、気候変動や山火事、樹木の乱伐などで、多くの水源において消失・劣化や動物の侵入汚染が発生した。現在の住民約1,000人の多くは女性と子どもで、乾季には十代の子どもたちが3km以上歩いて清潔な飲料水を求める水不足に直面している。伝染病の発生率が高く、腸チフス、下痢、赤痢などの水系感染症が増加している。また、学校に通う年齢の子どもたちが水探しに多くの時間を費やして、学校に遅刻することによって学業成績にも悪影響を及ぼしている。

【実施前】



既存の水源地



水を汲みに来たMbororo族の家族

- 主な活動内容: 初回ミーティング、衛生管理プログラム実施、水源地整備、植林と周辺整備、維持管理の水委員会の設置。水源地には5,548リットル受水槽(2m×2m×1.8m)と壁型立水栓(給水栓2個付き)を建設する。
- 特長: 住民による水委員会が維持管理を行う。この水委員会は、地域行政の指導をもとに持続性をはかる。
- 団体: 2018年に設立した地域開発と環境保持団体。2021年より北西カメルーンの水源地整備に着目して、国外資金による類似事業を実施してきた。この団体は、Mbororo族共同体を2020年コロナ発生時から支援している。

5. Mbororo共同体の水源地修繕 (カメルーン)

【実施中】



水源地近くで植林する女性



衛生管理研修



基礎工



受水槽工を見届ける住民



Mr. Ardo Aliyouさん (55歳)

私は幸せです、ありがとうございます。このプロジェクトに資金提供して下さった方々(日本水フォーラム)に感謝します。また、プロジェクトを率いてくれたサンデーとご支援いただいた全ての方に感謝します。神様が豊かさを増やして、村の全員が清潔な水を手に入れられるように祈ります。長年、私たちは自然水源から水を飲んで参りました。今やほとんどの水源が汚染されたので、特に乾燥した季節には人々が病気になってきました。この地域で初めて蛇口から水をもらえて幸せです。



Ms. Have mohamadou さん (29歳)

この給水施設を見られて感謝しています。私たちは家の近くで清潔な水が手に入りました。サンデーさん、ありがとうございます。ここにいる私たちの母親や父親、そして村のアルドさんまでとても幸せであるとお伝えするため参りました。もうきれいな水を探すための苦労はありません。本当にありがとうございます。



Mr. Ibrahim Kelah さん (65歳)

このプロジェクトを資金提供して下さった方々に感謝の意を表したいです。彼ら(日本水フォーラム)に感謝しています。この水は多くのムボロロの人々に役立つでしょう。私たちは清潔な水の不足でたくさん苦しんできましたが、今では水があり、これを実現させてくれた全ての方々に感謝しています。ありがとうございます。

★下左端の引渡式記念写真について
給水栓左に立つ、白衣に赤頭巾の人物がアルド(族長)アリヨウ氏。給水栓右のオレンジ安全帯着用人物が、実施団体リーダーのサンデー・ジェフリー氏。

【実施後】



引渡式、アルドと主な共同体指導者★



JWFに感謝する女性